



# ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

## No. 203

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
書名の後の（ ）の数字は請求記号です。

問) ポツダム宣言の全文・原文（英語）を読みたい。

答)  →  →  ⇒ 91件

検索結果が多いときには、調べたいテーマで絞り込みができます。

→  →  ⇒ 1件  
 ⇒ 1件  
 ⇒ 4件

※  など、複数の単語を入力する組み合わせ検索も便利です。

『ポツダム宣言』を読んだことがありますか？』（開架一般 329/Y19）

『英語で読む！日本の歴史を決めた公文書』（閉架一般 210.6/Mi36）

『玉音放送が流れた日』（開架一般 210.75/G99）

『開戦の詔書』（開架一般 210.75/J55）

1945年7月におこなわれた米・英・ソの3か国首脳がドイツのポツダムに集まり、戦後処理について会談しました。その会期中に米・英・中より日本に向けて降伏勧告が寄せられます。それが「Proclamation Defining Terms For Japanese Surrender（日本降伏の条件を定めたる宣言）」いわゆる「ポツダム宣言」です。

7月26日にポツダム宣言が発せられますが、日本政府は黙殺します。しかし8月14日に受諾、8月15日に終戦を迎えます。それからおよそ2週間後の9月2日、米戦艦ミズーリ船上において降伏文書の調印式がおこなわれました。

ポツダム宣言は全部で13項目あり、最初の項目では「Japan shall be given an opportunity to end this war」とあり、日本に戦争終結の機会を与えることが告げられます。最後の項目では「the unconditional surrender of all Japanese armed forces」とあり、日本軍の無条件降伏の宣言が求められています。その他の項目では、それぞれ日本軍の武装解除や民主化などを求める内容になっています。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



# 軍人会館

## (現 九段会館)



軍人会館（現 九段会館※）は、昭和天皇の御大典記念事業として、下賜金や寄付金などにより、帝国在郷軍人会によって建設されました。

建物のデザインは、一般に広く図案を懸賞募集する競技設計（コンペ）によって決定されました。小野武雄の設計図案が選ばれ、これを基に伊藤忠太、川元良一が監督・設計を担当し、昭和9年（1934）3月に東京市麴町区飯田町一丁目（現 千代田区九段南一丁目）に完成しました。

建物は、地下1階、地上4階の構造になっており、帝冠様式とよばれる、鉄筋コンクリートの洋風建築の上に伝統的な和風の瓦屋根をのせた和洋折衷の造りになっています。帝冠様式は、昭和10年前後（1920年代後半～30年代）に流行し、東京帝室博物館（現 東京国立博物館）や日本生命館（現 高島屋日本橋店）、大礼記念京都美術館（現 京都市美術館）などにも用いられています。

軍関係者のための施設として、講堂や宿泊室、娯楽室などが整えられ、行事の開催や社交場などとして利用されていました。

また、軍人会館は、昭和史に残る出来事の舞台にもなっています。昭和11年（1936）に起きた二・二六事件のときには、反乱部隊を鎮圧し、首都の治安を維持するために戒厳司令部が置かれました。反乱部隊の兵士に元の部隊に戻るよう促した「兵に告ぐ」という放送の文案は2階司令部で作られ、同じ階の映写室から事件4日目の2月29日にラジオ放送され、鎮圧の最終的な決め手となりました。

翌12年（1937）4月には、満州国皇帝の弟である溥傑と嵯峨浩の結婚披露宴が行われたことでも知られています。

終戦後に帝国在郷軍人会は解散、9月に軍人会館はGHQ（連合軍総司令部）に接収され、「アーミーホール」と名付けられました。昭和32年（1957）1月に日本政府に返還され、財団法人日本遺族会（昭和28年3月設立）への無償貸与が決まり、この年の10月に九段会館として全面営業を開始しました。

※昭和館の隣に建つ九段会館は、現在は閉鎖されて館内には入ることはできませんが、外観を見ることはできます。

### ☆参考文献☆

- 『九段会館のあゆみ（コピー資料）』（369.37/N71）閉架
- 『軍人会館競技設計図集』（525/Ko95）閉架
- 『戦時下日本の建築家』（521/I57）開架
- 『ホテル百物語』（689/To58）開架
- 『図説 占領下の東京』（210.76/Sa85）開架
- 『遺族と戦後』（369.37/Ta84）開架
- 『我が家 第206号（昭和9年1月）』（051/W14/206）閉架雑誌

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 203

2017年8月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1